

私たちのメディアを創るラボ (連携先：山陽新聞社)

ラボの課題

山陽新聞のこれからの情報発信を考える。

春学期の活動報告

〈新聞に対する基礎知識〉

- 地方紙の現状や、特徴、課題を学んだ。
- 新聞を使用し、新聞の特徴をハッピースクラップ帳（ポスター風）にまとめた。
- さん太しんぶん館見学に向けて、新聞製造工程を動画を視聴した。



〈さん太しんぶん館見学〉

- シアタールームで、映像とともにスタッフの方から、施設説明を受けた。
- 輪転機など、製造機器を見た。
- 創刊から現在までの、新聞記事遍歴を見た。



〈見学等を通して〉

- SWOT分析で、理解を深めた。
- 記者の方を招いて、現場の生の声を聴いた。
- 海外のメディア砂漠について、動画を視聴した。



今後の計画・目標

春期：山陽新聞社から提起された課題を理解する。施設見学を通じて理解を深める。
秋期：山陽新聞社の拠点である岡山県について調査研究し、地域の将来展望を探る。

担当教員：八木一郎、藤原美佳、鈴木義治
所属学生11名

ポスター制作：青木治樹、木下聖、中地逸樹、松村樹蘭、濱西泰雅

私たちのメディアを創るラボ (連携先：山陽新聞社)

ラボの課題

山陽新聞のこれからの情報発信を考える。

- 提起された問題や地方紙の実績についての理解
- 地域の将来展望を探る

春学期の活動報告

- 新聞の構造について学んだ
- 新聞を切り取って自分の新聞を作成
- さん太新聞館へ訪問
- 新聞社についてのSWOT分析をやってみた！



クロスSWOT分析



S × O

- タブロイド判の発行
- 県外へ出て行った人へ地元の情報を発信

W × O

- 若年層に新聞の良さを知ってもらう
- 料金を分割して回し読み

S × T

- 単身分野別での販売
- 世帯向けの新聞

W × T

- インターネットのサービスを併用

ニュース砂漠

アメリカ国内の地方紙が廃刊し、報道機関がゼロになってしまいジャーナリストの失業と正しい情報が必要な地域に届かない状況を学習した。

まとめ

新聞などのメディアの現状を理解し、新しい価値をゼミで探索した。

今後の計画・目標

- 分析で得た新聞の強みを今後の企画に生かす。
- ラボで学習した情報を元に岡山の地域の将来展望を探っていく。

担当教員：八木一郎、藤原美佳、鈴木義治

所属学生11名

ポスター制作：田中大起、サイシュンゼン、川本修輔、武地廣己、吉崎聖